

2024_0827「台風10号と寒冷渦（動画）」日々の理科 3673号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

現在列島に接近している「台風10号」は、当初の予想よりも西寄りに進路をとりつつあります。そもそも台風は、自力で移動する能力はなく、「貿易風（東から西）」→「太平洋高気圧の縁（時計回り）」→「偏西風（西から東）」と何度も風を乗り換えて進みます。その結果、日本列島付近では「逆つ字」に移動するのが普通です。今回の台風10号は、それに加えて「寒冷渦」の存在が、台風を西に強く引き寄せました。

「寒冷渦」とは、ジェット気流の強い蛇行が本流から切り離された、「反時計回りの渦」です。「寒冷低気圧」「離切低気圧」とも呼ばれます。対流圏上層部の渦なので、通常の温帯低気圧のような前線や暖気を伴いません。地上天気図にも表記されず、雲もほとんど発生しないので衛星可視画像にも映りません。しかし、高層天気図や衛星水蒸気画像にははっきり表れるのが普通です。

寒冷渦が台風を迷走させたのが、2018年の台風12号でした。この時は、台風が本州南岸を東から西に進むという異常な動きで大騒ぎになったのです。今回の台風10号は、その時ほどではありません。しかし衛星水蒸気画像を見ると、台風が「寒冷渦の亡霊」に引き寄せられる様子がよくわかります。

(2024年8月下旬／気象衛星画像)

